

鳩だより (敬称略)

祝 洗 礼

11月8日(日) フランシスカ 藤岡 智子 姉
 神戸昇天教会
 11月22日(日) パウロ 竹下 茂 兄
 呉信愛教会
 12月20日(日) アンナ 平町 登美子 姉
 呉信愛教会
 12月25日(金) ペテロ 牧岡 広樹 兄
 神戸聖ミカエル教会
 テレサ 三島 麗子 姉
 松江基督教会

祝 堅 信

11月22日(日) パウロ 竹下 茂 兄
 呉信愛教会
 12月20日(日) アンナ 平町 登美子 姉
 呉信愛教会
 12月25日(金) ペテロ 牧岡 広樹 兄
 神戸聖ミカエル教会
 11月15日(日) ピリポ 八代 浩 兄
 神戸聖ミカエル教会
 11月22日(日) ヨセフ 田中 清司 兄
 神戸聖ミカエル教会

12月17日(木) ミカエル 小野 勝哉 兄
 呉信愛教会
 11月21日(土) ヨセフ 白井 清隆 兄
 徳山聖マリア教会
 11月23日(月) パウロ 竹下 茂 兄
 呉信愛教会
 12月2日(水) コルネリオ 金子 幸一 兄
 神戸聖ミカエル教会
 12月25日(金) マリア 永沼 輝子 姉
 (元伝道師)
 姫路顕栄教会

11月21日(土) サムエル 大橋 武郎
 ベタニヤのマリア
 大橋 哲子
 徳山聖マリア教会より
 石橋聖トマス教会へ
 12月31日(木) ヨハネ 日下 右二
 ベタニヤのマリア
 日下 由美子
 パウロ 日下 圭介
 ヨハネ 日下 光平
 徳島インマヌエル教会より
 横浜聖アンデレ教会へ

教 籍 移 動

11月12日(木) マリア 那須 澄枝 姉
 京都聖三一教会より
 呉信愛教会へ

神 戸 伝 道 区

12月4日(金)、神戸昇天教会にて、神戸伝道区婦人会の降臨節黙想会が行われました。黙想指導は小南晃司祭。マタイによる福音書5章「地の塩、世の光」というテーマから黙想講話を聞き、黙想の機会が与えられ

ました。参加者は約27名でした。12月6日(日)には、神戸マリナーズ・センターでアドベント特別企画「英国のクリスマス」が行われました。マリナーズ・センターのポール・トルハースト司祭から、クリスマス・シーズンに英国の人々がどの様な生活を送っているのか、というお話がありました。参加者20名

徳島伝道区

●神戸聖ペテロ教会
 11月29日(日)、恒例の降臨節黙想会を行った。今年の黙想指導者は、当教会にも一時信徒として在籍していた京都教区の古本みさ司祭。絵本や音楽などを用いた黙想講話に一同聴き入り、クリスマスに向けて「いつも共に居てくださる(インマヌエル)イエス様を黙想することができた

●徳島聖テモテ教会
 11月21日(土)、20年ぶりの秋の伝道集会、(神様どこにいるの?)やさしいお話と歌で触れるキリスト教が行われた。講師は、エレナ古本みさ司祭(京都教区)、ノエル三木亜佐子姉。30名ほどが集まり、みさ&ミキによる、み言葉を聴きと賛美を共にし、満たされた。詳細は、当教会のホームページをご覧ください。

お詫びと訂正

「神のおとずれ12月号」の「鳩だより」教籍異動の欄で、福山諸聖徒教会・溝口悟士兄となっていました。正しくは溝田悟士兄です。お詫びとともに、訂正させていただきます。

2月の教区関係教役者 逝去記念聖餐式

日時	2016年2月4日(木) 午前10:30	
場所	神戸聖ミカエル大聖堂	
司式	中村 豊	平野 一郎
説教	ハリー ウッドワード	パークレイ バックストーン
3日	祭 司	ヤコブ 牧野 興三郎
5日	祭 司	モーセ 村尾 昇一
5日	主 教	ホノリア 竹内 宗六
6日	司 祭	ヨハネ 中道 政ア
7日	宣 教	フローレンス 高木 アギ
11日	司 祭	ジョージ ブライド
12日	伝 道	ジョージ ボ田 中
12日	伝 道	ジョージ ヨセフ 西村
13日	宣 教	アリス
16日	司 祭	
17日	司 祭	
20日	司 祭	
23日	宣 教	
不明	宣 教	

3月の教区関係教役者 逝去記念聖餐式

日時	2016年3月3日(木) 午前10:30	
場所	神戸聖ミカエル大聖堂	
司式	中村 信幸	上原 信幸
説教	フレッド ケテルウェル	アンジェラ オグレスビー
3日	祭 司	アリス ロバート
6日	宣 教	アンジェラ オグレスビー
11日	宣 教	ヤコブ 明山 セツ
12日	主 教	エリザベス ナッ シュン
13日	宣 教	エリック アレン
16日	司 祭	フローレンス ガーデナス
17日	宣 教	ヒュウ フォイ
21日	主 教	オリバー ナハナ
22日	司 祭	ナオミ 中川 三
22日	伝 道	ハンナ 億 尾 ミサ
23日	伝 道	エリザベス 中尾 ミサ
25日	伝 道	ウォルター ウェストン
27日	宣 教	ステパノ 栗原 一
27日	司 祭	ヨハネ 栗原 一
29日	司 祭	ヨハネ 栗原 一
30日	司 祭	ヨハネ 栗原 一
31日	宣 教	マリヤ

日本聖公会 神戸教区報

神のおとずれ

2016年 1・2月号

発行所 神戸教区事務所
 TEL 078(351)5469
 FAX 078(382)1095
 http://www.nskk.org/kobe/

発行責任者 司祭 芳我秀一

印刷所 文明堂印刷所

「宣教百四十年を迎えて」

司祭 ヨハネ 芳我秀一



1876年(明治9年)9月21日、この日、英国からH・J・フォス司祭とF・B・プランマー司祭が神戸に上陸して、伝道活動が開始されました。この当時、まだ神戸教区は存在していませんが、この時が神戸教区の宣教の初めです。

1976年9月23日、この日、

神戸教区宣教百周年記念礼拝が神戸聖ミカエル大聖堂で行われました。当時、わたしは大学3年生でしたが、朝早く薄暗いうちに船に乗って徳島から神戸にやってきました。坂道を登り詰めてふと横を見ると大きな教会が目に見え、驚かされました。それが初めて見た大聖堂でした。礼拝堂に入ると先ずその広さ、天井の高さに驚かされました。さらに驚いたのは既に座席は満席で立ち見の人々が溢れていたことです。こんなにたくさんの方々が信仰を持つ人々がいる。このような光景はそれまで見たことがありませんでした。この時、言い尽くせない興奮と喜びを感じたことを思い出します。あれ

から40年が過ぎようとしています。この時の体験はわたしの生き方に大きな影響を与えたと思っています。

「まず最初に、イエス・キリストを通して、あなたがた一同についてわたしの神に感謝します。」(ローマの信徒への手紙第1章8節前半)

この言葉は聖パウロがまだ会ったこともない大都市ローマにいる信徒に対して書いた手紙の一節です。当時(A.D.58年頃)はまだ信徒数も少なく、教会堂もなかったでしょう。おそらく信徒の家に集まって礼拝を守っていたと思われる。そのようなローマの信徒に対して聖パウロは、なんと早くも「あなたも、わたしも、共に生きていく」という思いをこめてこの手紙を書いたのです。彼は本論に入る

「キリストの喜び」

程にキリストによって変えられ、キリストに服従した使徒でありました。

キリストの願いが、わたしたちの願いとなり、キリストの喜びがわたしたちの喜びとなる。これが同じ信仰をもつ者の真の願いであり、喜びです。ところが人間は自分の抱く喜びがあったとしても、教会における喜びや楽しみのように勘違いをしてしまうのです。

人が、目を開かれて、キリストを見ることは難しいことです。さらに、キリストに服従して、キリストと共に十字架のいのちの道を歩むことは奇跡です。だから、信仰に固く立つて祈り、生活する人を見ると喜びに溢れ神に感謝するのです。

今秋、宣教百四十年記念礼拝が神戸聖ミカエル大聖堂で行われます。多くの人々が参加され、キリストの喜びを大いに分かちあっていたらいいと思います。

(姫路顕栄教会牧師)

神戸教区第83定期教区会

教区主教開会演説

主教 アンデレ 中村 豊

2015年度の主な出来事

1. 逝去
 - 4月18日、桑原一郎司祭、4月25日(土)には中道緑姉(中道淑夫主教夫人)そして、6月21日(日)にはかつて神戸教区で働かれた沖繩教区退職司祭・津留孝夫司祭が逝去されました。
2. 聖職按手式
 - 3月21日(土)に聖職按手式を神戸聖ミカエル大聖堂で挙行し、杉野達也執事が司祭に、浪花朋久聖職候補生が執事に按手されました。
3. 教区人事
 - 今年は大規模な人事異動は実施しませんでした。
4. 会館・牧師館
 - 1) 徳山聖マリア教会牧師館・会館解体
 - 2) 岡山聖オースチン教会会館・牧師館落成式
5. 阪神・淡路大震災
 - 20年記念礼拝関係
 - 1) 兵庫県基督連合会礼拝(エキメニカル礼拝)
 - 2) 神戸教区各教会歴史と現状・将来への展望に関するDVD作成
6. 教区宣教140年関係
 - 1) 教区史編集実行委員会
 - 2) 神戸教区各教会歴史と現状・将来への展望に関するDVD作成
7. 沖繩・九州・神戸教区合同フィリピン中央教区ワークキャンプ
8. 広島平和礼拝2015
9. 中高中生大会

が集い、盛大に挙行されました。



高松聖ヤコブ教会 外壁工事完了

この度は、高松聖ヤコブ教会の礼拝堂外壁工事のために、お祈りと収獲感謝献金を捧げて頂きありがとうございます。お陰様で写真のように無事に工事を完了することが出来ました。見たところは外壁を石板で覆ったように見えますが、これは吹きつけによる仕上げで貼り付けたものではありません。設計社のお話では、最近では危険を避けるために剥落する可能性のあるタイルや石板などは使用しない

ところが多いそうです。改修前の聖ヤコブ教会の外壁も、かなり危険な状態でした。早く手を打たなければならぬことは明らかでしたが、何せ多額の費用がかかることですから。しかも率直に言うと、多額の費用を支出しても、それで教会が活性化する訳ではなく、礼拝出席者の増加に繋がらるわけではありません。教会が持ち合わせている限られた資金を、そのような工事に支出することは抵抗がありました。その資金は、教員が長い時間をかけて少しずつ献金し蓄えてきたものです。でも、もしこの危険箇所を放置したために、教会に来られた方が怪我をされるようなことになつてはなりません。教会委員会で相談し、受聖餐者総会に諮り、思い切つて工事を決めました。

おそらくどの教会も、高松同様、礼拝堂や施設の維持管理の問題が深刻化しているのではないかと思います。そんな中、高松のために献金を頂

災者や、建物解体・修復のために、ボランティアとして神戸地域で奉仕してくださった方をお招きして夕食会を開催し、40名が参加しました。

6. 教区宣教140年関係

1) 教区史編集実行委員会

来年度の、神戸教区宣教140年を記念し、神戸教区史を発行する準備として10名の委員が任命され、歴史の検証が実施され、執筆が開始されております。

2) 神戸教区各教会歴史と現状・将来への展望に関するDVD作成

来年度のイースターまでに完成するよう、編集チームが結成され、現在作業中です。なお、ナレーションは松蔭中高の放送部が協力してくださいます。

7. 沖繩・九州・神戸教区合同フィリピン中央教区ワークキャンプ

2月27日(金)～3月9日(月)まで、パンリツクの聖フィリポ聖ヤコブ教会とジャンボリーのアガペ教会で実施され、神戸教区より、3名の青年がこれに参加しました。

8. 広島平和礼拝2015

原爆投下70年目に当たる今年、8月5日(水)午後、大屋美代子(広島復活教会信徒)の被爆証言があり、山下未来さん

き、感謝いたします。と同時に、わたしたちもまた、教区内で同様の問題に直面している教会には、できるだけだけの支援に努めたいと思っております。ありがとうございます。

(高松聖ヤコブ教会 牧師・信徒一同)



松江キリスト教会 牧師館の浴室・脱衣室 工事完了

この度は松江基督教会の牧師館の浴室・脱衣室改修工事のために神戸教区施設維持管理基金による補助金を交付し

(大家さんの孫)は、原爆への取り組みについてお話をされました。6日の原爆逝去者記念聖餐式には、日本聖公会全主教及び大韓聖公会首座主教・金根祥(キム・ゲン・サン)主教も参加しました。平和礼拝には220名が参加。

9. 中高中生大会

8月11日(火)～14日(金)、野間光顕氏(敬和学園宗教主任)を講師にして、啓明学院・前島キャンプ場で開催し、横浜教区より司祭2名と5名の中高生も加わり、参加者は総計72名でした。

2016年度への姿勢

1. 人事異動

来年度は大規模な人事異動を実施します。これにより、岡山聖オースチン教会と浜田基督教会に教役者が派遣され、神戸教区各教会が求めてきた定住教役者がほぼ充足されることとなります。また、来年4月から42名の教区神学生が神戸教区に与えられます。他1名もウイリアムス神学館で聴講します。3名とも社会人経験者であり、教役者の、もの考え方が多様化し、宣教活動が豊かにされることを期待いたします。

2. 神戸教区宣教140年関連

1) 記念事業委員会

9月22日(木・秋分の日)に

執行予定の、140年記念礼拝を中心とした行事を企画立案し様々な行事を実行いたします。

2) 神戸教区140年史

当初、記念礼拝時に発行予定でしたが、教区史に、記念礼拝も含めるべきだとの意見が多数寄せられ、2017年4月16日(復活日)を目処に発行いたします。

3) 各教会歴史と現状・将来への展望に関するDVD作成

2016年3月27日(日・復活日)までに教区に提出してくださるよう、お願いいたします。

4) 各教会宣教ビジョンと実施計画

2011年7月、教区宣教協議会が開催され、2016年に向かつての中期目標が各教会で策定され、それが実行に移されました。来年は宣教の中期目標がどのように実施されてきたのかの評価をし、それを来年中に発表することになります。

5) 140年聖句

神戸教区に与えられた神の業の数々に深く感謝し、神戸教区に連なる私たちが一丸となつて、キリストの福音を告げ知らせる者として立つことを誓い、宣教140年に相応しい聖句を公募します。来年2月2日(被献日)が締め切りです。

6) 聖ミカエル大聖堂

スタンディンググラス設置

ていただきまして、まことにありがとうございます。改修工事を実施でき、完了いたしましたので報告申し上げます。



(改装された浴室)

あったため、厳寒期を迎える前に浴室の改修工事を緊急に実施する必要があります。

松江基督教会では浴室を保温性の高いユニットバスに改修し、併せて隣接する勝手口と洗濯置き場を脱衣室に改築する計画を立て、2015年10月26日に浴室・脱衣室の改修工事を着工し、11月13日に工事が完了いたしました。

この度の牧師館改修工事にあたりまして、中村豊主教様



(脱衣室)

を始めとする神戸教区の関係者の皆様の温かいご高配とご支援に感謝して、厚くお礼申し上げます。

(松江基督教会 教会委員会)

この度は松江基督教会の牧師館の浴室・脱衣室改修工事のために神戸教区施設維持管理基金による補助金を交付し

第83定期教区会報告

去る11月23日(月)、神戸教区第83定期教区会が神戸聖ミカエル大聖堂にて開催されました。午前8時から聖餐式をもって始まり、朝食をいただいた後、教役者議員および信徒代議員の調査確認が行われ今教区会の成立が宣言されました。

そして、番外議員の推薦や新議員の歓迎が行われ、中村教区主教が開会演説を行いました。



その後、各委員会からの報告が行われ全ての報告が承認されました。また今教区会には12の議案が提出され協議されました。

この議案の中で注目すべきは、今年、神戸教区は宣教140年を迎えるにあたり、教区宣教140年記念事業委員会を設ける議案が提出され承認されました。今後、記念事

業の準備作業が促進されていくものと思います。

常置委員および総会代議員の選挙終了後、今年堅信50年を迎えられた28名を代表して議場におられた上野良雄兄(倉敷聖クリストファー教会信徒)と有田二郎兄(広島復活教会信徒)に、中村教区主教より記念品が贈呈されました。また開会聖餐式の

選挙結果は以下の通りです。

- 常置委員
- 【聖職】 司祭 上原 信幸
 - 司祭 八代 智
 - 司祭 小林 尚明
 - 司祭 松田 嘉彦
 - 司祭 宮永 好章
 - 司祭 大東 正人
 - 【信徒】 宮永 好章
 - 大東 正人
- 総会代議員
- 【聖職】 司祭 上原 信幸
 - 司祭 芳我 秀一
 - 【信徒】 宮永 好章
 - 大東 正人

堅信50年顕彰者

- 【神戸聖ミカエル教会】 ヨハンナ 田中 千賀 姉
- ラファエル 小川 一彦 兄
- マリア・カタリーナ
- ヨハネ 中道 純 兄
- ミカエル 島崎 守弘 兄
- ガブリエル 竹元 真一 兄
- タビタ 山村 直美 姉
- 【神戸聖ペテロ教会】 パウロ 大屋 乙彦 兄
- エリザベツ 石井 美恵子 姉
- ルツ 松本 公子 姉
- マーセラ 古本 佳世子 姉
- 【神戸昇天教会】 スーザン 難波 美智子 姉
- 【明石聖マリア・マグダレン教会】 バルナバ 平尾 武之 兄
- 【倉敷聖クリストファー教会】 バルナバ 上野 良雄 兄
- エリザベツ 上野 公子 姉
- 【福山諸聖徒教会】 マリア 宇佐美恵子 姉
- 【広島復活教会】 バルナバ 福岡 幸雄 兄
- パウロ 有田 二郎 兄



- 【呉信愛教会】 ルデア 宮田 里枝 姉
- ドルカス 北川 禮子 姉
- 【徳山聖マリア教会】 エリザベツ 藤井 玲子 姉
- 【下関フランシスコ・ザビエル教会】 エリザベツ 林 恵子 姉
- 【高松聖ヤコブ教会】 ヨハネ 高橋 秀直 兄
- 【高知聖パウロ教会】 ルカ 中石 勝也 兄
- 【徳島インマヌエル教会】 アナニヤ 玉置 浩志 兄
- ヨハネの母 漆原 美千子 姉
- 【徳島聖テモテ教会】 アンデレ 小室 一 兄
- エリザベツ 伊勢 美代子 姉

来年9月初旬、「みなと町コウベ」聖ミカエルを聖堂チャンセル南北に、「復活」「エデンの園の回復」を地下納骨堂に設置します。佳知晃子・岡田克子両姉(神戸聖ミカエル教会信徒)の逝去を記念するものです。

3. 広瀬基督教会建築・徳山聖マリア教会会館・牧師館建築

今教区で議案が上程されている通り、2教会で建築が開始されます。関係者各位のご支援・ご協力を宜しくお願いいたします。

4. 女性の、意思決定機関への参画・教区役員改選

昨年度、教区諸委員会の長と教区事務所役員に30%の女性が就任しましたが、各委員の、女性が占める比率は26%(伝道区長会議・資産運用委員会除く)であり、さらなる努力が求められます。一方、今教区会代議員の比率は29・8%に達しました。

しかし、常置委員・総会代議員にいたっては、女性信徒は皆無の状態です。この事実を十分に考慮していただき、信徒常置委員・信徒総会代議員選挙では、教区に在籍する、男性の成年の現在受聖餐者に加えて、女性も候補にさせていただきたいと思えます。

来年度は教区事務所スタッフ

や各委員会役員改選の年ですが、2017年には教区主教が与えられることとなります。円滑なカタチで、次期主教時代にバトンタッチするため、各委員の留任をお願いいたします。

5. 教区財政健全化に向けて

来年4月、2教会に定住教役者を派遣することは2年前に想定しておりましたが、これによって、教会資金援助金が増額し、教区一般会計の大幅な赤字を危惧しておりました。

幸いなことに、2015年度の教会資金援助金申請額は503万円で、2014年度実績695万円と比較しますと、約192万円減額となりました。しかし、2016年度の教会資金援助金申請額は820万円で、昨年より125万円増加で、引越し費用を除きますと、2016年度の教区積立金からの補填は205万円になります。この額で押さえられた理由の一つは、伝道区基金の存在です。

昨年度、伝道区基金から教会への教会資金援助金は75万円、拠出金援助金は26・4万円(計4101・4万円)でしたが、来年度は、それぞれ、130万円と40・7万円(計170・7万円)となり、伝道区基金が次第に、教区財政に貢献していることが明らかになりました。厳しい財政事情のなかにある

教会が合同してバザーなどを開催し、収益のいくらかを伝道区基金へ積み立てている伝道区もありません。伝道区基金活用が重要とされない伝道区におかれましては、財政困難な状況に陥っている他伝道区に対して、援助の手を差し伸べていただければ、当該伝道区にとって、大きな励みとなることは間違いありません。

教区財政の将来を考えると、私たちは教区積立金(残高約1900万円・2002年に普通財産に設置)が備えられていることに感謝しなければなりません。13年間、一般会計に剰余金があったとき、その多くをこの資金に繰り入れてきました。

少子高齢化に伴う献金額減少を危惧ながら教役者増加を想定し、教会資金援助金増額を予見して財政赤字の備えとした、深い知恵が教区関係者にあったのです。積立金は各教会からの献金に他ならならず、教区が代わって貯めていたのです。

教区タンスの引き出しをそつと開け、そのなかから、一般会計への繰り入れを、2017年度より毎年、100万円から150万円に押さえることができれば、少なくとも10年間は収支均衡を維持することが可能です。この間に、定住教役者と信徒が協働して宣教・教会活動に参与し、その結果、信徒数が増

加し、それに伴って献金額も増え、教会と教区財政が健全になることが私たちの目標なのです。

6. 献金を献げること、教役者派遣の意味

惜しんでわずかしか種を蒔かない者は、刈り入れもわずかで、惜しまず豊かに蒔く人は、刈り入れも豊かなのです。：種を蒔く人に種を与え、パンを糧としてお与えになる方は、あなたがたに種を与えて、それを増やし、あなたがたの慈しみが結ぶ実を成長させてください(Ⅱコリント9・6、10)

主教になって11年の歳月が過ぎました。この間、倉敷伝道所に土地・建物が与えられ、明石聖マリア・マグダレン教会と岡山聖オーガスチン教会の会館・牧師館が新築され、神戸聖ミカエル大聖堂の耐震改修工事が実施され、パイプオルガンが設置されました。当該教会・教区全てに建築資金が充分になく、教区内外に募金をお願いしました。

が、全ての工事で、募金目標が達成されました。加えて、毎年の収穫感謝献金によって、多くの教会で改修が実現されており、他の教会や教区のために献金を惜しまず献げる行為は神戸教区の誇りの一つなのです。

じだと言います。種を惜しんで、僅かしか撒こうとしない農夫は、本当の農夫といえませんが、惜しむ気持ちや、いやいやながら行う献金や奉仕で、多くの収穫が期待されるのでしょうか。

収穫前に、人間側の思惑だけで物事を押し量って、間引きしようとする誘惑にかられる農夫の姿勢は、神の御心にかなっているのでしょうか。「成長させてくださるの神(1コリ3・6)」であることをすっかり忘れていきます。

私たちの、他のために何事かをなさうとする姿勢は、神が私たちに与えて下さった事実を本にしています。神の恵みへの感謝の心が、献金や奉仕となって現れるのです。20年前の阪神・淡路大震災では、神戸地域の教会は、多くの恵みをいただくなかで、教会や会館・牧師館が復旧しました。4年前の東日本大震災では、神戸教区から多くの教役者・信徒が被災地に駆けつけ、救援活動を実施しました。

それは、20年前の恵みを感謝しての行為であったといえるのです。

互いに乏しさを支え合う交わりを通して、教会が活かされ強められていきます。神戸教区に属する私たちは、10年後の大きな収穫を期待して種を撒かなければなりません。